

科目名		高年齢労働者社会医学実習	
科目責任者		財津 将嘉 (高年齢労働者産業保健研究センター 教授)	
開講時期:	2年次	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 60 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>自らの研究テーマへの取り組みを通じ、高年齢労働者に係る産業保健施策の目的、諸概念、活動の現状や広がり、課題への理解を深め、それを実務に活かせる応用力、疫学研究に必要な能力及び科学者としてのアカデミックな能力を深める。リーダーとして、科学的根拠と現場の顕在的・潜在的ニーズ及び対応を踏まえた高年齢労働者への必要な対策を計画し、実践するためのリサーチマインド、プレゼンテーション能力等を修得する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高年齢労働者に係る社会医学領域の中で、自らが取り組む課題を絞り込むことができる。 2) 自らの研究課題に関連した論文をレビューし、それらの知見、課題をまとめることができる。 3) 疫学研究デザインにつき、一般的な議論をすることができる。 4) 自らの研究課題に関して妥当な仮説を立てることができる。 5) 自らの研究課題に適した研究デザインと具体的な研究の進め方について議論することができる。 6) 研究倫理につき、基本的な事項を説明し、議論することができる。 7) フィールドの関係者や参加者に対して、研究の意義、手順等をわかりやすく説明できる。 8) 研究過程で生じた問題点につき、正確な把握と適切な対処ができる。 9) 得られた結果を多面的に評価・考察し、研究結果のフィードバックについて説明すること 10) 研究成果発表を通じて、論理的な考え方、リサーチマインドを会得する。 11) 学会発表を通じて、結果のまとめ方、プレゼンテーションの仕方を身につける。 			
● 評価方法	討議への参加度50%、発表内容と課題レポート50%で総合評価する。		
● 参考文献	実習のなかで必要に応じ紹介する。		

● 授業内容

内容	担当教員
大学院生が選択したテーマに関して、研究方法(統計手法を含む)や研究倫理などの指導を行うとともに、得られた結果の解釈の仕方、まとめ方についての実践的な指導を行う。	財津
高年齢労働者に係る領域を中心とした社会医学領域に関して、その評価と改善に関する研究指導を行う。	財津
高年齢労働者に係る領域を中心とした社会医学領域に関して、現状の分析および介入方法に関する研究指導を行う。	財津
学会発表を通して、発表のまとめ方を含め、より高度のプレゼンテーションの能力を養成する。	財津